

第2学年 社会科実践事例モデル(在籍学級)

(1) 単元(または題材)名

「産業の発達と幕府政治の動き」

(2) 対象生徒の状況

対象生徒	母語 (出身国)	日本語習得状況	当該教科に関する力
A	スペイン語 (ペルー)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本生まれ。 ・中学校1年時にブラジルへ帰国し、2年時に来日。 ・日常会話は問題ないが、多少の日本語の言い間違いがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲はあるが、取り組みにくい課題があると、あきらめてしまうことがある。 ・教科書を見て解ける問題は取り組むが、調べ学習などになると取り組みにくい。
B	スペイン語 (ボリビア)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本生まれ。 ・生活言語はほぼ身につけている。 ・一問一答形式の質問は答えるが、考えや意見を問うと、自分の言葉で伝えることは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な用語や暗記できた知識に関しては発表できる。 ・グループ活動などで、自分の意見を日本語で伝えることはまだ難しい。

(3) 単元(又は題材)の指導方針

- ①学習言語の習得のためもあり、宿題を毎時間出して、授業の内容について自分の言葉でまとめる練習をしている。
- ②読みにくい新出語句にはルビをふるようにしているが、単語や人物名への配慮以外に、視覚的に捉えられるように、図版や絵を提示している。
- ③前時の復習を経て、本時の学習に入る流れを作っている。
- ④戦いや改革などが、その後どのような影響を与えたかなど、幅広い意見が得られるようにグループワークを活用している。

(4) 単元(又は題材)の目標

- ①教科の目標
 - ・産業、交通の発達、教育の普及、町人文化、地方の生活文化、江戸幕府の政治改革と政治の行き詰まりや、新しい学問・思想の動きに対する関心を高め意欲的に迫及している。(社会的事象への関心・意欲・態度)
 - ・産業、交通の発達、江戸幕府の政治改革と政治の行き詰まり、新しい学問・思想の動きから課題を見出し時代の特色と変化について考察できる。(社会的な思考・判断・表現)
 - ・資料、グラフなどから適切な情報を読み取ってまとめることができる。(資料活用の技能)
 - ・外国船の接近や幕府政治の改革、新しい学問・思想の動きなどを通して幕府政治が行き詰まっていたことを理解することができる。(社会的な事象についての知識・理解)
- ②日本語の目標
 - ・江戸時代の諸産業について、それらが発達した理由を自分の言葉で説明できる。
 - ・幕府による代表的な政治改革について、必要になった理由や結果を自分の言葉で説明できる。

(5) 単元の指導 (全6時)

次	学習活動	教師の働きかけ (発問○) 日本語表現の支援 (●)	指導上の工夫・留意点 (板書・ワークシート等)
1 5 6	1 農業や諸産業の発達 2 都市の繁栄と元禄文化 3 享保の改革 4 田沼政治と寛政の改革 5 新しい学問と化政文化 6 外国船の出現	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、宿題の中で、授業内容について自分の言葉でまとめさせる (興味がある出来事や人物について調べてくる生徒が増えている)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の言葉で表現させるときに、幅広い意見が得られるようグループワークを取り入れている。 ・語句へのルビだけではなく、図版や絵などの提示を多用する。
7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時 (次) の目標</p> <p>①教科の目標 ・幕府を立て直すために必要な政策について考えることができる。</p> <p>②日本語の目標 ・「幕府の収入を増やすためには○○を行う必要があった。」</p> </div>		
	① 前時の復習を行う。	<p>○幕府がぜいたくを禁止した政策は何か？</p> <p>予想される反応「儉約令」</p> <p>○人々の思想や出版物に対してはどうであったか？</p> <p>予想される反応「政治批判を禁止した」「出版物を厳しくとりしまった」</p> <p>・課題提示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一問一答形式で質問する。 ・支出をおさえる政策や生活を規制する政策が多かったことを押さえる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>目標：天保の改革の主な内容を理解する。 改革が「成功・失敗」した理由について考える。</p> </div>			
	②天保の改革の主な内容について知る。	<p>資料を見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・儉約令 ・派手な風俗、出版物の取締り ・株仲間の解散 ・人返し令 ・上知令 	<p>【理解支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天保の改革の主な内容を黒板にまとめ、視覚化する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>人返し令について考えよう。</p> </div>			
	③人返し令がどのような政策であったのかを考える。 ・農民、幕府にとってどんな政策であったのか	<p>○人返し令は農民にとってどのようなものであったか？</p> <p>資料を見せる。</p> <p>予想される反応「凶作、ききんの影響で農民は仕事がなかった」「農村の田畑は荒れ果てていた」「農民は</p>	<p>【理解支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を見せ、全国的にききんが起きていたことをおさえる。 ・資料から、凶作によるききんなどから農民が故郷

	<p>自分の考えをノートに書き込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめた意見を発表する。 	<p>故郷に戻っても働けなかった」「幕府は農民に米を作らせ、収入を得ようとした」「凶作やききんで収入が安定しなかった」</p>	<p>に帰っても仕事がない状況であったことをおさえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕府は農民に米を作らせて収入を得ようとしていたことに気付かせる。 ・生徒から出された意見について深める。
幕府の収入を増やすにはどうしたら良かったのか。			
	<p>③幕府の収入を増やすために必要な政策について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをノートに書き込む。 ・班になり、意見交流を行う。 ・発表する。 <p>④本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表を聞き、自分の言葉でノートにまとめる。 <p>⑤次時の学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p 123「雄藩の成長」を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を行う。 ・思いついたことを率直に書くように伝える。 ・自分の言葉で発表することを伝える。 ・生徒の意見を板書する。 <ul style="list-style-type: none"> ・発表者の意見を参考に自分の言葉でまとめることを伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・次回は諸藩が改革に成功した理由について考えることを伝える。 	<p>【記憶支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天保の改革の主な内容を繰り返し伝えて、必要な政策をあげるようにする。 ・自分の意見と班員の意見を交流させる。 <p>【表現支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話の中で表現したい内容を引き出し、文章化する。 ・生徒が出した意見について考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・改革に成功した藩があったことを伝える。
8	8 諸藩の改革		<ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習した幕府の失敗をもとに、失敗しないためにどうするべきか、意見を深める。

(6) 板書及びワークシート・配付資料

課題：幕府を立て直すために必要な政策について考えよう。

水野忠邦の絵
資料1

<天保の改革> 老中：水野忠邦

内容

1. 儉約令：ぜいたくを禁止
2. 派手な生活や出版物をとりしめる。
3. 株仲間を解散
4. 人返し令：江戸に出かせぎに来てい
る農民を故郷に返す。
5. 上知令：江戸・大阪周辺の土地を
幕府の領土とする。



ききん、百姓一揆、打ちこわし
発生件数

資料2

<幕府を立て直すために必要な政
策について考えよう>

生徒の意見を板書する。

<人返し令について。>

- ・凶作、ききんの影響で農民は仕事が
なかった。
 - ・農村の田畑は荒れていた。
 - ・故郷に帰っても仕事がなかった。
- 【幕府】**
- ・幕府の収入は年貢米だった。
 - ・年貢をとるために命令を出した。
 - ・農民に米を作らせ、収入を得ようと
していた。
 - ・凶作やききんの影響で収入が安定し
なかった。

1. 凶作により、田畑は荒れ、ききんも続いていた。
 2. 故郷に帰っても仕事がなく、農村で生活をする
ことは難しかった。
- 1・2から天保の改革は失敗したと考えられる。

(7) 単元を通じた成果と課題

<成果>

- ・思考が深まるように生徒が発表した意見を、他の生徒に改めて聞いた。意見のぶつかり合いが
少なかったものの、同意見でも発言ができていたところがよかった。

<課題>

- ・生徒への支援が少なく、考えなければいけない場面で意見が書けない生徒がいた。すでに学習
した語句でも理解できていない生徒が多くいたので、語彙を増やす支援が必要であった。
- ・生徒が自分の意見をまとめられるように、表現支援を提示し、文章の形にしておく書きやす
かった。
- ・復習の場面では、前時の内容のうち、本時につながるような振り返りをし、流れを把握させる
必要があった。